

紀州のエジンソン



～島正博～



愛
気

新聞

創造

ホールゲーム

島正博とホールゲーム

島さんは、島精機製作所の社長をとめています。島さんが発明したホールゲームは、一本の糸があれば色々なサイズ形の服を作ることができます。



島さんの今まで

島さんは、1937年、3月10日に和歌山市で生まれました。島さんは、和歌山大空しゅうで家や食べ物が多かったので、地面に設計図を書き、家族が住む家を作って、食べ物もなかったので空き地を耕し、野菜を育てて、道ぞいで販売したり、天ぷらにして売ったりしていました。

島さんが16歳の時に世界初の全自動入り編み機を発明しています。このように島さんは小さいころからたくさんの発明をしてきました。



島精機製作所社長
島正博さん

島精機製作所の

宇宙船内日常服

宇宙での中立しほいをまじりしたシルエント

背中、脇下に編み組織によるメッシュ構造をもち、発汗時の蒸発を促す。

くっつきは、保温性能を持ちながら足裏部分を透かすなどの工夫を施しています。



～島精機製作所立ち上げまでの道～

島正博さんは、おさない頃和歌山大空しゅうに、
あひ母親との生活が長くつづきました。そのと
母がまぶくろをあんでいました。すると？
「もっとかんたんにあめる方法はないか?」と考え、
ホールゲームを発明するとどうしてに
島精機製作所を立ち上げました。



ホールゲームの技術

島さんが発明したホールゲームは、手袋の上下も逆にし、真ん中の3本指をどうしたいに、小指と親指をそでに、手首をえびにみだてた小さなセーターを作り上げるという天才的な発明をしました。



大切にしていること

あきらめない心
いっも全力で
まほうをもって
そばにいる人を受し
うみだす知恵をもって
ぞやるぞ!という気持ち
うごき続ける熱意

島正博さんの人生を げきに表しました!



島精機製作所とSDGs

人にやさしく 地球にやさしく 未来をつくる

一番丸ごと頼めるホールゲーム製法により、3Dバーチカルカンプレックスな動物を削り、ホールゲーム製法を注したスニーカーの企画・販売

活動環境を改善
賢いものを賢い時に
限りのある資源を有効活用

オーソドックスな「モノ」づくりの提案
繊維産業に
イノベーション
人々に働きがいの
ある仕事と創造